

1. 件名:PRA の実施に係る国内原子力発電所の機器故障率の推定等に関する一般財団法人電力中央研究所等との面談

2. 日時:令和4年12月7日(水) 13:30~14:25

3. 場所:原子力規制庁 2階大会議室(オンライン開催)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部検査監督総括課 米林上席検査監視官、沼田主任検査監視官
技術基盤グループ シビアアクシデント研究部門 濱口主任技術研究調査官
一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター 上席研究員 他6名
東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部原子炉安全技術グループ 課長 他2名

関西電力株式会社 原子力事業本部 安全技術グループ リーダー 他1名

5. 要旨

- (1)事業者が作成した PRA モデルの適切性確認において、原子力規制庁が指摘した「中長期的な改善箇所」の一つである機器故障率について、日米間の差異の分析に資するため、原子力規制庁は、一般財団法人電力中央研究所(以下、「電中研」という。)の機器データ収集に関するガイドの整備状況について確認し、最も重要なデータ収集プロセスについては準備ができ次第、説明するよう依頼した。
- (2)また原子力規制庁は、データ収集プロセスの妥当性の確認に係る、機器の選定、確認方法、スケジュールについて電中研と質疑応答し、機器の選定を中心に、引き続き議論していくこととした。
- (3)適切性確認の効率的な進め方について、11月30日の第10回検査制度に関する意見交換会合で報告した内容を原子力規制庁より説明し、事業者から改善に係る意見があれば議論していくこととした。

6. 配布資料

なし

以上